

みんなの 議会



おおさと

NO.193

定例会



町花：つつじ

 丹精込めて 
(りんごの木剪定)

2019 平成31年2月1日
宮城県大郷町議会

4 新成人との座談会

6 小学6年生 議会を傍聴

8 郷郷ランドに屋根付きベンチ設置

14 一般質問

28 追跡リポート

その後どうなった



本年もよろしくお願ひ申し上げます

定例会年間予定表

定例会	期 間	会期日数
2019年 第1回定例会	2019年3月5日(火)～3月20日(水)	16日間
2019年 第2回定例会	2019年6月4日(火)～6月7日(金)	4日間
2019年 第3回定例会	2019年9月18日(水)～10月4日(金)	17日間
2019年 第4回定例会	2019年12月3日(火)～12月6日(金)	4日間
2020年 第1回定例会	2020年3月4日(水)～3月19日(木)	16日間

※定例会の会期は都合により変更になることがあります。
※土曜日、日曜日及び休日は休会となります。



大郷町議会議長
いし かわ よし ひこ
石 川 良 彦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には輝かしい新年を健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に對しまして格別のご理解とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

一昨年からは町内4会場で議会報告会を行い、直接町民の皆さまと対話させていただく中で、地域ごとに特徴的な課題や現状の一端を伺う機会となりました。このような取り組みを通して、議会の活性化はもとより、果たすべき役割や責務がますます問われることを自覚し、執行機関の監視機能を果たし、議決機関たるその使命を胸に、何よりも町民の日々の生活を重視し、社会の変化に應じて多様化するニーズを的確にとらえて町政に反映させるべく、より一層の努力をしてまいりますので、今後とも議会へのご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝、ご多幸を議員一同、心からご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

議 員 赤 間 茂 幸
議 員 大 友 三 男
議 員 佐 藤 千 加 雄
議 員 熱 海 文 義
議 員 石 川 壽 和
議 員 若 生 寛
議 員 赤 間 滋
議 員 和 賀 直 義
議 員 高 橋 重 信
議 員 高 橋 壽 一
議 員 石 川 秀 雄
議 員 千 葉 勇 治
副 議 長 吉 田 茂 美
議 長 石 川 良 彦

迎 春
いまこそ対話のときである

— 大郷町をこんな町にしたい —

平成30年12月14日、成人式運営委員と「まちづくり」や「将来の夢」について座談会を行いました



▲成人式の晴れ姿



子どもの気持ちかわかる保育士になりたい。
郷郷ランドや公有施設で0歳児から2歳児が安心して遊べるスペースをつくってほしい。

人と人のつながり「コミュニティ」によるデザインを使い、まちづくりを行うことなどを勉強している。
小・中学生、高校生が、大郷町のまちを創ったと誇りに思えるような、環境を作って欲しい。

公務員になるために勉強している。
震災を経験し、福祉関係などで、多くの人に貢献したい。

コンビニエンスストアで働いている。将来店長となって店を任せられるようにしたい。
ずっと住み続けたいまちをつくってほしい。

学校の先生か学校の事務職に就きたい。
もっとバスの本数を増やして欲しい。土日も運行して欲しい。

IT関係の仕事で、農業にITを利用できるようにしたい。
大郷は農業の町で、ITを利用して農産物の販売拡大をすべき。

お客さんに喜ばれる美味しいコーヒーを作りたい。
皆が集えるカフェが欲しい。

お母さんと同じように、特別支援関係の仕事をした。
障害のある人が、しっかり仕事、作業をしていることを広報紙などでPRして欲しい。

石川 瑞帆さん (学生)

鎌田 千輝さん (学生)

小野 茜さん (学生)

伊藤 風雅さん (社会人)

佐藤 佑香さん (社会人)

藤門 莉生さん (学生)

桜井 ふうかさん (学生)

山谷 夏奈さん (学生)





定例会を

傍聴しました



大郷小学校の6年生67名が12月4日、5日の一般質問の様子を見学しました。

なとり かいり
名取 佳璃さん



私は初めて見学に行って、議員さん達が話し合っている様子は、とても緊張感があってすごいと思いました。議場は声が響くようにしてあって、音をたてると響いていました。他にもたくさんの工夫がありました。議場の机にはマイクがあって、そのマイクも自由に曲げることができるものでした。議員さん達の机には筆記用具があって、資料にメモをするなど議場だけではなく、議員さんたち自身も工夫していることがあるので、すごいと思いました。

意見を言う人は、重要なことは声を大きくしてその大切さを伝えていました。

私は、疑問に思ったことがあります。それは議員さんは議長に指名されて意見を言うことです。私は、議員さんが意見を言いたいときに自由に挙手をして議長に指名されたら言うのかなと思っていましたが違いました。議長が指名した人が意見を言うので、他の議員さんが言いたいときはどうするのかと疑問に思いました。

大郷町のために、いろいろ調べたことをもとに意見して、よりよくしようという話し合いをしていて、すごいなあと思いました。

おざわ るい
小澤 琉椅さん



ぼくはこの前、大郷町の議会を見学してきました。議会は、約30人ほどで構成されていて、質問する人、受け答える人、議長さんなど、いろいろな役割があって、見ているこちらにも緊張していました。議会の会場は、とてもピリピリしている感じで、せきやくしゃみなどはハンカチでおさえてしたり、えんぴつなども落としてはいけないくらいでした。

議会は、議員さん達が質問して、町長さん達が答弁していました。他の人達はいろんな厚い資料を見ていたり、パソコンを見たりしていました。机の上には水や筆記用具、ハンカチ、ティッシュなども置いてありました。ぼくたちが見ていた時間は短く、話し合いが順調に進んでいるように思いました。言い争いになることはありませんでした。

この議会を見学させていただいて、行く前は、ニュースで見たような言い争いがあるのかな・・・と思いながら見学を始めましたが、聞いてみるととても静かに話し合いをしていて、大郷をもっとより良くするために重要な話をしてくれているんだなと思いました。

ぼくは今は12歳で、あの話し合いに入るのは考えられないですが、25歳になれば、選挙にも出ることができるし、6年たてば選挙に投票することもできて、大人の仲間入りです。議員になるとはいかなくても、選挙の投票はしっかり考え、少しでも社会に役立つようになればいいなと思いました。

みやざわ りい
宮澤 凜衣さん



私は、12月4日、大郷町の町役場に行き、大郷町の議会を見学しました。

最初は、とても緊張しました。でも、どんなことについて話すのだろうと、ワクワク感もありました。

議場の中は、とても静かでした。といっても、正直穏やかな雰囲気なわけでもなかったです。一人の議員さんが質問をして、誰かが答えるという、その繰り返しだったと思います。私が見学した時は、答える人はほとんど町長さんでした。

また、話し合いが進んでいって、一度だけ、町長さんが強い口調で答えていることがあったけれど、それは、町をより良くしようとするための強い気持ちの表れだと感じました。

大郷町の議会を見学して、話し合いの進め方や議場の雰囲気などがよく分かりました。とても貴重な体験ができたなと感じました。

たかはし りく
高橋 龍生さん



ぼくは、議会見学に行きました。議会での話し合いは、想像よりもすごく激しかったのでびっくりしました。話し合いでは特に、議員さんと町長さんのやり取りが多くて、議長さんが話す人を指名するという様子でした。

議員さん一人の質問でだいたい1時間くらい話し合いをしていました。

ときどきびっくりするときもあったけれど、しっかりと大郷について話し合っているということを感じました。

大郷町のことだけではなく、大郷小学校の学芸会や運動会で使う駐車場のことまで話し合っていたので驚いたし、そこまで考えてくれているのかと思いました。

これからも大郷町をもっとより良くする話し合いをしてほしいと思いました。そしてまた見学してみたいと思いました。

1045
万円

保育事業委託料



問 詳細な説明を。
答 町民課長 保育園で10名が増え約670万円、ゆめの杜160万円、町外3名分で200万円となっている。

164
万円

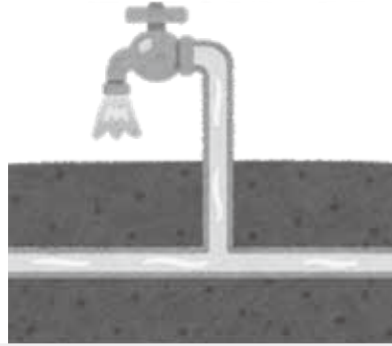
こども園開園に伴う改修設計業務



問 今回の内容は。
答 学校教育課長 トイレ等の増改築工事である。

630
万円

配水管布設工事



問 今回は生活道路の大松沢畑ノ中前畑線で配水管布設工事をし、その後道路改良工事を行う計画か。
答 地域整備課長 今年度中に水道管を布設し、来年度改良舗装の予定。測量設計は実施済みである。

112
万円

小中学校 要・準要保護就学援助費



問 補正計上した理由は。
答 学校教育課長 新入学用品の入学前の支給経費で、小学生10名、中学生で15名程度を想定している。
問 3月中の支給となるのか。
答 学校教育課長 申請をしていただければ3月前に支給する予定。

12月定例会
補正予算

郷郷ランドに屋根付きベンチ設置

一般会計と6特別会計及び水道事業会計の補正予算が提案され、可決しました。
一般会計は6771万4千円を増額し、歳入歳出それぞれ51億1517万8千円となりました。

今回の主な

300
万円

土地購入費



問 今回町道土橋明ヶ沢線拡幅とのことだが、高崎団地の先まで延伸できないか。
答 町長 担当課と相談して対応できれば前向きな考えを持ちたい。

469
万円

郷郷ランド改修工事



問 どのような工事内容か。
答 農政商工課長 暑さ対策のための屋根付きベンチ設置工事や安全確保のための県道側フェンスの一部改修工事を行う。



▲積極的な活用を

問 観光PR印刷製本費「常のモロ」グッズの種類を増やし、積極的にPRをすべきでは。
答 農政商工課長 現在4種類あるが、他の啓発事業と合わせキャラクターの有効活用を努める。

問 消費拡大イベント業務 38万円のマイナス補正となっているが、夏まつりや秋まつりだけでなく、もっと消費拡大を図るべきでは。
答 農政商工課長 物産館等々でのPR方法について検討し、予算の範囲内で消費拡大に努める。

大郷産牛

問 消費拡大イベント業務 38万円のマイナス補正となっているが、夏まつりや秋まつりだけでなく、もっと消費拡大を図るべきでは。
答 農政商工課長 物産館等々でのPR方法について検討し、予算の範囲内で消費拡大に努める。

問 住民バス燃料費 どのような根拠で予算を計上したのか。
答 企画財政課長 当初103円/ℓの見込みだったが、129円/ℓと高騰したため差額分を計上した。

問 土地改良補助金 前川地区圃場整備事業の見直しは。
答 地域整備課長 土地改良区が中心になり同意関係等について進めている。町では把握していない。

問 就学援助費 補正計上した理由は。
答 学校教育課長 子どもたちが増えると想定されたため、小・中学校入学支援事業の運動着等の一部助成として追加分を計上した。

問 老人ふれあいの家 量が増えているので対応をお願いしていたが。
答 保健福祉課長 今回、大広間と娯楽室の畳すべてを交換する予定。

その他の質疑

58人乗りの住民バスを購入

平成30年第3回臨時会が10月25日に開催され、財産の取得について審議し、賛成多数により原案どおり可決しました。

住民バス用として、58人乗り中型バス1台を約2226万円で購入します。



▲スロープ板により車イスにも対応

問 朝夕の効率化を図るための購入ということだが、本当に経費削減になるのか。

答 企画財政課長 朝夕2台で運行している路線が1台で運行でき、人件費の削減になる。

問 年間の経費削減額は、企画財政課長 計算はしていないが、修繕費用は削減される。

問 ふれあい号事業により、住民バスの利用増を見込んでいるのか。

答 企画財政課長 ふれあい号事業の検証をした後、住民バスとの連携について検討していく。

問 バス車両全体の更新計画を示すべきでは。

答 企画財政課長 利用状況を踏まえ、更新を検討していく。

問 町長 買い物ツアーにも使うなど、本町の経済活動にも寄与できるようにしていきたい。

問 今回購入のバスの利用は何人見込んでいるのか。

答 企画財政課長 朝夕で80人、日中は1便で10人程度を見込んでいます。

討論

反対 千葉勇治議員

具体的な必要性が示されていない。庭先から目的地までのふれあい号の運行が住民バスの乗り口までに変更されかねないので反対する。

反対 大友三男議員

利用価値が少ない中型バス購入より、ふれあい号など利用が見込めるマイクロバスか、10人乗りワゴン車を購入すべきと考え反対する。

12月定例会
条例改正

民間給与との格差の是正を行うための条例3件を原案どおり可決しました。

可決

1. 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
2. 特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例

人事院勧告により期末手当を0.05月分引き上げ、年3.35月とし、12月期に差額分を支給する。期末手当を、平成31年度より6月期、12月期均等支給する。

3. 職員の給与に関する条例

- ① 宿日直手当を200円引き上げ4,400円とする。
 - ② 俸給表を400円～1,500円の範囲で引き上げる。
 - ③ 勤勉手当を0.05月分引き上げ、年1.85月とする。
 - ④ 期末・勤勉手当を平成31年度より6月期、12月期に均等支給する。
- ①、②は平成30年4月1日に遡及する。
①、②、③は12月に差額支給する。

次回定例会

予定

3月5日(火)から
午前10時～
3月20日(水)まで

平成31年度の1年間の町の予算について審議が行われます

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
第3回臨時会 P11	財産の取得について	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	-
第4回臨時会 P12	工事請負契約の締結について	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
	工事請負契約の締結について	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
12月 定例会 補正 予算 会 P8-9	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	職員の給与に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計(第4号) 51億1518万円(6771万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険(第2号) 9億131万円(1億340万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険(第2号) 10億6935万円(295万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療(第2号) 8649万円(2万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業(第2号) 2億4117万円(2万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業(第2号) 5290万円(7万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽(第2号) 6237万円(3万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
水道事業会計(第2号) ①収益的支出:2億3067万円(135万円↑) ②資本的支出:1億7732万円(509万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

(↑)は増額、(↓)は減額
可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

新 町営住宅 8棟着工へ

平成30年第4回臨時会が11月14日に開催され「工事請負契約の締結」2件を審議し、賛成多数により原案どおり可決しました。



	内容	金額	業者名
第一工区	木造平屋建て3棟 木造2階建て1棟	9180万円	(株)丹秀工務店
	木造平屋建て3棟 木造2階建て1棟	9180万円	(株)丹秀工務店



【議案第60号】
工事請負契約の締結について
東沢団地並びに田布施団地の老朽化に伴う新たな町営住宅として、高崎団地新築工事第1工区分の工事請負契約を締結する。

問 8月の入札において、最低制限価格を下回り失格となった同一業者に契約内容に適合した工事が成されるのか。

答 企画財政課長 一般競争入札にし、2工区に分けたことにより新たな工事とした。低入札調査基準価格を設定し入札を執行することにした。

答 地域整備課長 2工区にすることにより年度内の完成、諸経費率の低減が図られる。

問 低入札調査委員会では、どのような確認で契約内容に適合すると判断したのか。

答 参事 事業課及び契約執行課において書類の審査をし、業者にヒアリングを行った。その後調査委員会において、履行が認められるとの判断をした。

【議案第61号】
工事請負契約の締結について
議案第60号と同様に、第2工区分の工事請負契約を締結する。

問 予定価格を下げた内容の資料提出を求める。

答 地域整備課長 提示する。

反対
千葉勇治議員
2工区に分けての工事だが、同じ業者が同じ額で落札している。また予定価格の引き下げについても提出される資料を精査してからでないかと理解できない。

討論

平成30年定例会・臨時会 傍聴者数

	会期	人数	備考
第1回 臨時会	1月23日	9人	
第1回 定例会	3月5日~3月20日	35人	
第2回 臨時会	5月16日	17人	
第2回 定例会	6月5日~6月8日	27人	
第3回 定例会	9月6日~9月21日	23人	
第3回 臨時会	10月25日	0人	
第4回 臨時会	11月14日	0人	
第4回 定例会	12月4日~12月7日	83人	うち大郷小67人
合計		194人	





熱海 文義 議員

小学校の駐車場は必要なのか

多目的利用も踏まえた整備考える(町長)

問 年1回の運動会でしか使用しないのに必要なのか

答 町長 駐車場以外にもサッカーやフットサル場等の多目的利用も踏まえた整備を考えている。

問 どこに、いくら予算で考えているのか

答 町長 学校から130mほど離れた場所を考え、現在交渉している。整備には補助金の活用を考えている。

問 駐車場が使用出来るまでの間はどうか

答 町長 自由広場からバスで送迎する形で保護者の皆さんに御理解していただきたい。



▲どうなる駐車場

新町営住宅の入札に問題はないか

公正公平に行っている(町長)

問 8月29日の「平成30年度高崎団地新築工事」入札で※1最低制限価格を下回り、失格となった業者を、同じ事業の入札に参加させたのはなぜか

答 町長 工区を2つに分けたことで、新たな事業として入札公告を行った。入札要綱等による入札参加資格に適合すると判断した。

問 9月まで、最低制限価格と※2低入札調査基準価格の両方が設定されていたが、10月1日付けで急に最低制限価格をなくし、入札を行ったのはなぜか

答 参事 低入札調査基準価格を設定した場合、最低制限価格等の両立は好ましくないとの実例を確認した段階で改正した。



大友 三男 議員

問 入札執行責任者として、前回失格となった業者を町長は、何の違和感もなく落札者として認めたのか

答 町長 全く仕事の内容も異なるので、何ら問題はない。

問 29年度と比較すると、入札の事前辞退者数が極端に増加しているが

答 町長 事前辞退は事業者の都合で、執行者の責任ではない。



▲快適な住環境を(鶉崎字原)

問 町民の方々が疑念を抱いている。一般競争入札や指名競争入札、見積合わせによる随意契約などに対し、第三者機関の入札監視委員会を設置すべきでは

答 町長 常に公正な自治運営をし、与えられた責任を全うしている。

一般質問

一般質問

道の駅 西側駐車場について

問 町長は以前に「道の駅の駐車場は狭すぎるので、西側の個人の所有地を民間会社を買っていただき造成をし、その土地を借用する」と言っていたが、どのような流れで契約したのか

答 町長 地権者は売却しないとのことだったが、役場が中に入り交渉を進めてきた。駐車場整備に当たっては改良材、改良土を取り扱っている町内民間会社に相談をした。まだ完成したわけではない。春に法面工事をしてその後契約したい。今のところは無償で借りている。

問 町の中心地で交流拠点でもあり、町の活性化や将来を考えれば購入したほうがいいのではないか

答 町長 今後とも大郷町の中心市街地として役割を果たさなければならぬ場所なので購入したほうが将来的にいいと思う。

小学校保護者用 駐車場設置は

問 道の駅西側の土地売却を拒んでいる地権者に対し、町長本人が、何度も民間会社に売るよう尽力されたと聞いている。町長公約の小学校保護者用駐車場整備に尽力するのが先ではないか

答 町長 用地取得に着手した。

物産館改修による 公社改革事業は

問 地方創生交付金を利用し、事業を実現させている自治体がある。物産館改修事業に同じ交付金をなぜ利用しなかったのか

答 町長 29年度を境に交付金採択が難しく、公社改革を推進するため町単独事業とした。

町営住宅について

問 東沢町営住宅の南側住宅は残すのか、解体するか

答 町長 26年改定の大郷町公営住宅等長寿命化計画において、現在建設から30年を超えているので、建て替え及び用途廃止対象住宅に位置づけられていることから、今後は解体する方向である。

問 東沢、田布施町営住宅の解体には費用がかかるので民間会社に無償譲渡してどうか

答 町長 今後建物を解体し更地にして売却を考えており、現状のままの無償譲渡が可能か住宅法を調査し検討したい。

※1 最低制限価格(制度) : 適正な工事を行うため、最低限必要な価格をあらかじめ設定する制度。
 ※2 低入札調査基準価格(制度) : 入札価格が調査基準価格を下まわった場合、落札を保留し、工事などが契約の内容どおり完成されるかを調査する制度。



和賀 直義 議員

ごみの減量を目指せ

リサイクル率の向上が第一(町長)

問 一家庭当たりのごみ量と処理費用の推移は。

答 町長 29年度は640kgで微減し、処理費用は約2万7千円、若干増額傾向にある。

問 減量目標値を設定すべきでは。

答 町民課長 分別の徹底を再検討し、目標数値を設定する。

問 ごみ排出量とリサイクル率の県内での位置は。

答 町長 一人一日当たりの排出量は810gで県内上位6位、リサイクル率は12・7%で県内26位となっている。

問 ごみステーション設置箇所数の見直しの考えは。

答 町長 設置要望があれば検討する。

問 町民の利便性を高めるために、分別品をいつでも出せる、24時間資源ごみリサイクルステーションの設置の考えは。

答 町長 すぐには難しいが今後ごみの減量化と併せて検討する。

問 事業ごみ量の推移と減量化の働きかけは。

答 町長 年650トンと横ばい状態となっている。

問 町民課長 事業系ごみの処理費用は町で負担しており、軽減のために協力依頼をしている。

問 ごみの有料化について他自治体の報道があるが、どう考えるのか。

答 町長 予定していない。

問 ごみの減量化に向けて取り組むべき課題は。

答 町長 リサイクル率の向上が一番であり、環境衛生組合と協力し住民への意識向上を高める。



▲資源の分別でごみ減量を(環境管理センター)

新町営住宅にバス停を

問 入居までのスケジュールは。

答 町長 31年3月末に完成、4月に再度対象者に説明会を行い、住み替えは5月頃を予定している。

問 バリアフリー等になっているのか。

答 町長 室内に段差を設けない。玄関や浴室、トイレに手すりを設けるなどの対応を行っている。

問 住民バス停は。

答 町長 31年4月のダイヤ改正に合わせて、現在の運行路線上に設置する。

問 所得の少ない高齢者の福祉施策として、現行の町営住宅を改良し供給をすることになっているが進んでいるのか。

答 町長 経年劣化、耐用年数による建て替え事業なので、新たな住宅へ住み替えをしていただくよう努力していく。

問 新町営住宅の家賃では厳しい生活の世帯への支援は。

答 町長 柔軟に対応する。

役場庁舎を新築する考えは

継続検討していく(町長)

問 築40年の役場庁舎は、今後維持管理費用がかさむと予想される。複合施設として庁舎と中央公民館を一緒に新築する考えは。

答 町長 庁舎は改修工事を実施しながら改築についても継続検討していく。公民館は移転と定め、他施設との整備計画と併せて計画的に実施していく。

問 今後人口減少により公共施設等の利用需要が変化していく。特に社会教育・体育施設の活用方法や施設数をどうしていく考えか。

答 町長 個別整備計画に基づき、老朽化の激しい施設は取り壊し、その他の施設は、定期的なメンテナンスや改修を行いながら長寿命化を図り、住民ニーズを踏まえ、最大限の利活用が出来るよう整備していく。



赤間 茂幸 議員

公共施設の維持管理に民間活用を

問 公共施設の建設に、PFI方式を取り入れては。

答 町長 民間事業者との調整が必要となるが、導入するメリットがあり、費用対効果を検証していく。



▲待たれる複合施設

問 施設運営、維持管理等を外部委託する考えは。

答 町長 現在、指定管理者制度を利用し、物産館、開発センター、縁の郷、住民バス、老人ふれあいの家の5施設と、小中学校の業務員業務等も委託している。他の施設についても、外部委託が可能か模索していく。

職員の人事異動について

問 どのような基準をもって人事異動にあたってているのか。

答 町長 どの部署に異動になっても対応できる能力と知識を身につけてもらうことが肝要であり、定期的に人事異動を実施している。おおむね在職期間が3年以上の職員を異動対象者と考えているが、特に若手職員には、できるだけ多くの部署を経験してもらいたいと考えている。

問 職員の昇任は何を基準にして行っているのか。

答 町長 初任給・昇格・昇任等の基準に関する規則に基づき、職員の個々の能力や勤務実績に応じて昇任・昇格を行っている。

※ PFI方式：公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。



佐藤千加雄 議員

広報の活性化を

これまで以上に情報発信していく(町長)

問 広報担当部署の機構改革を行い、広報の体制を一本化にして効率的な事業推進をすべきではないか。

答 町長 「広報」は企画財政課が担当し、「ホームページ」は情報セキュリティの観点から総務課が担当している。今後も現行の組織体制のもと、「広報マン」としての意識を各部署が持ち、これまで以上に情報発信していく。

問 ホームページのさらなる有効活用を。

答 総務課長 現在、ホームページだけでなく、あらゆるソーシャルメディアの活用もしている。

答 町長 理想をもっと実現するため、我々も一緒に頑張って改善・改良に努める。



千葉 勇治 議員

経年劣化によるクロス交換費用は誰の負担か

経年劣化によるものは、入居者の負担ではない(町長)

問 「大郷町営住宅条例」には退却時のクロス劣化に伴う修繕負担は入居者負担と明記されているのか。

答 町長 クロスの交換は義務化されていない。今回は、壁に穴(エアコン設置時に生じた小穴)があり入居者に責任があると判断し、クロスの交換をお願いしたが、私も立ち会い確認したが、クロス張り替えをしなくても十分に修復可能な小さな穴であり、国土交通省が示している「ガイドライン内容」からしても、町の負担になるのではないのか。

答 町長 私もこちら(町側)の責任でやるべきだと思う。今後検討させていただく。

新公共交通システム

問 町が考えている「新しい交通システム」とは。

答 町長 75歳以上の高齢者世帯だけで暮らす方を対象(限定)に、戸口(家の玄関)から直接、病院や店舗、JR駅などへの外出を支援する事業として「ふれあい号」を31年1月から試験運転し、10月から本格運転を計画している。今後対

一般質問

象者にアンケート調査を行い住民ニーズをよく把握し運行計画を策定していく。

問 町が対象外としている世帯の75歳以上の町民からふれあい号の利用希望が出されたら対応するのか。

答 企画財政課長 あくまで今回は75歳以上の世帯に限定させてもらう。

保護者説明会での声を生かせ

問 11月17日に開催された幼保連携型認定こども園開園に備えた保護者説明会で出された保育士等の確保や保育料等多くの意見に、園関係者はどのように応えていく方針か。

答 教育長 保育士等の人数は既に確保したと聞いている。

答 町長 保育料については、下げはしても、上げるという考えは一つもない。



▲交換が必要となったクロス

街路灯・防犯灯の増設を

問 近隣市町村に比べて、本町は暗く感じるが、街路灯の増設をすべきでは。

答 町長 現道も含め、道路整備事業と併せた中で、必要な路線への設置を検討していく。

問 日没後の防犯対策として、通学路に防犯灯のさらなる増設を。

答 町長 安心・安全なまちづくりのため、行政区の要望を受けながら、状況を調査・確認し必要箇所に設置をしていく。

問 町が先頭に立って街路灯・防犯灯の大幅な増設を。

答 町長 基本的には質問に沿う形で今後進めていく。生活上必要とされている道路・農道等にも街路灯設置を。

答 町長 安全安心という面から言えばそういうことになる。

通学時の安全確保を

問 小学校の送迎時における安全な乗降場所の確保を。

答 教育長 児童館駐車場で乗降を保護者に呼びかけている。

問 中学校の送迎時における校門前の渋滞解消に向けて取り組みは。

答 教育長 校内の駐車場の進行表示を明示するなど対策を講じているが、協議しながら改善を図る。

問 中学校の通学時における大松沢地区以外へのスクールバス運行の考えは。

答 教育長 現行の体制を継続しながら、住民バスも含めた公共交通システムの中で総合的に考える。

問 住民バスを中学校下校時の交通手段としては。

答 町長 下校時間が年5回変更になるので、その都度ダイヤや改正は厳しいが利用者ニーズ等を捉え、中学校と連携し検討していく。



▲町の情報発信・・・ホームページで!

一般質問

議会運営委員会

12/13~14

【調査の概要】

- ・通年議会の取り組みについて
- ・議会活性化の取り組みについて

【視察地】

- ・福島県小野町 (12/13)
- ・宮城県柴田町 (12/14)



①



②

通年議会に取り組んでいる先進地に学ぶ

おのまち 福島県小野町 ①

平成26年1月から通年議会制を導入。議長の権限で本会議を開催することができ、行政をチェックする機能の充実強化が図られ、委員会活動も時機を逸することなく対処でき、充実できているとのことだった。

宮城県柴田町 ②

平成25年4月から通年議会制を導入。災害等の突発的な事件が発生した場合、議長の権限で速やかに本会議を開くことが可能になったり、委員会の調査活動が継続したサイクルで取り組めることから、以前より活性化されているとのことだった。

【意見】

本町議会では年4回の定例会、臨時会、議員全員協議会、委員会活動や研修会への参加なども活発に行っている。

通年議会については今後の大きな課題であり、議会活性化の一環として議会運営委員会と議会改革調査特別委員会が中心になり議論を深めていく考えである。

広報広聴常任委員会

11/6

【研修概要】

議会広報研究会 (県町村議会議長会主催)
講師：芳野 政明氏

「議会の存在感示し住民と関係性築く
～議会広報の基本と編集ポイント～」

【研修場所】

宮城県自治会館 (仙台市)



よりよい紙面づくり

新成人との座談会

12/14 (P4~5)



教育民生常任委員会

11/8

【調査の概要】

ごみ処理の現状調査と減量化の課題探究

【調査の対象】

- ・町内ごみ集積所
- ・環境管理センター新焼却施設
- ・町民課



ごみの分別・減量化の推進を

【意見】

- ごみ集積所は、全般的に整然としており、町民の環境整備意識の向上がうかがえる。
- ごみ排出量抑制 (リデュース) の取り組みは県内6位と上位だが数値目標を定め、町民全体を巻き込んださらなる減量施策の実施を。
- 搬入費用も含めた一家庭当たりのごみ処理費用を示し、ごみ減量化に対する町民の理解と協力への働きかけを。
- 分別の周知徹底をし、資源回収に努めるべきである。(リサイクル率12.7%で県内26位。上位は30%超え)
- 焼却施設は黒川地域共有の財産であり、分別全般にわたる指導の徹底を図るべきである。(大型の金属片などの燃えないごみの混入、ペットボトルの中に注射針などの混入が見られた)
- 町のごみ搬入量の約3割が事業ごみである。町内事業者に対し、ごみ減量化の働きかけを行うべきである。

次回は

「学校教育について」

を調査します。

総務産業常任委員会

11/7

【調査の概要】

全施設の第二次整備計画が出され、施設ごとの整備方針が示された。

【調査の対象】

企画財政課



公共施設等の総合計画について

【意見】

- 役場庁舎について、基金の積み立てをしながら建て替えを考えているとのことであるが、建設基金の創設について詳しい計画を立案し説明すべきである。
- 中央公民館は移転の方針であるが、具体的な方針内容の早期検討を。
- 町民体育館は譲渡・取り壊しの方針であるが、有効活用については、あらゆる可能性を考慮し、慎重に検討すべきである。
- 旧大松沢診療所・旧たばこ会館・旧歯科診療所など譲渡・取り壊し方針の施設は、早急な取り組みを。
- 施設の長寿命化は優先順位を検討し、国の財政支援を受けられるよう整備計画の作成を。
- 移転・譲渡・取り壊しなどについては、利便性を考慮し、広く町民の意見を聴きながら進めるべきである。

次回は

「納税意識の向上に向けた取り組み状況について」

を調査します。

委員会

第69回 追跡レポート

開発センターの有効活用を図れ

開発センターについては、再三指摘している。この1年間で開発センターの改革への具体的な取り組みはあったのか。
(平成29年予算審査特別委員会／意見書より)

農政商工課長

改革として、テナントを貼り付ける考えで2回ほど募集したが、成果までには至っていない。道の駅、物産館、開発センターを中心にした住民ニーズに合わせ、産業振興、雇用創出が図られるよう進める。

その後どうなった

平成30年1月に井ヶ田製茶(株)・大郷町・(株)おおさと地域振興公社が協定を結び、本年度については、物産館の改修、売り場づくり、人材育成を行ってきた。開発センターの活用についても三者協定の枠組みに、新たに明成高校を加え、食品工房やカフェ等の運営について協議を進めています。
合わせて、移住定住等、地方創生事業を推進するための窓口を設置する予定です。
農政商工課長



▲待ったなし！有効活用（開発センター）



▲リニューアルオープンした道の駅

アンテナショップの開設は

東京のどこに、どのように開設し、何を販売するのか。
(平成29年第3回定例会／一般質問より)

町長

JAや商工会、民間事業者と共同し農産物の販売ルート「おおさと食材アンテナショップ」を開設する。専門部署を配置し大郷の食材の魅力を全国に発信する。

その後どうなった

大郷の食材の魅力を発信するためのアンテナショップの開設については、平成30年度から所管をまちづくり推進課（産業立地推進係）とし、企業情報収集や調査等を委託している、まちづくりコーディネーターの指導や助言をいただくとともに、企業誘致活動を通じて今後の事業展開を模索しているところです。
まちづくり推進課長

視察を受けいれました

11/14

大衡村議会総務民生常任委員会

視察内容

「住民バスと他の公共交通機関との連携について」



こんな研修がありました

11/6

人口減少問題と県政運営に関するセミナー

テーマ 「地域別将来人口変化とその要因」

講師 国立社会保障・人口問題研究所
小池 司朗 氏

テーマ 「今後の県政運営について」

講師 宮城県知事
村井 嘉浩 氏

11/15

宮城黒川地方町村議会議長会議員研修会

テーマ 「議員の果たす役割と議員の心構え」

講師 全国町村議会議長会
横田 優 氏

11/22

黒川地方市町村議会議員研修会

テーマ 「地域経済の問題として
小売業・買い物を考える」

講師 東北学院大学 副学長
千葉 昭彦 氏



議会の主な動き（10/1～12/31）

月 日	用 務	月 日	用 務
10/2	広報広聴常任委員会	11/7	江合川・鳴瀬川・吉田川水系改修促進期成同盟会要望会（仙台市）
10/6	大郷幼稚園運動会	11/8	教育民生常任委員会 所管事務調査（大和町）
10/10	全国町村議会議長会主催議会広報研修会（東京都千代田区）	11/9	議員全員協議会
10/11	広報広聴常任委員会 視察研修（埼玉県鴻巣市）	11/14	第4回臨時会・議員全員協議会
10/13	大郷中学校合唱コンクール	11/20	議員全員協議会
10/15	黒川地方市町村議会議員研修会第1回実行委員会（大和町）	11/22	「道の駅おおさと」リニューアルオープン内覧会・お披露目会
10/15	広報広聴常任委員会	11/27	黒川地方市町村議会議員研修会第2回実行委員会
10/19	広報広聴常任委員会	11/27	議会運営委員会
10/20	大郷小学校学芸会	12/1	大郷幼稚園おゆうぎ会
10/21	総合防災訓練	12/4～7	第4回定例会
10/21	おおさと秋まつり（10/27、10/28、11/4）	12/8	大郷保育園おゆうぎ会
10/23	議員全員協議会	12/12	オリンピック・パラリンピック事業アスリート講演会
10/24	仙台北部道路建設促進期成同盟会要望活動	12/13～14	議会運営委員会 視察研修（福島県小野町、柴田町）
10/25	第3回臨時会	12/19	知事と町村議会議長との懇親会
10/29～30	宮城黒川地方町村議会議長会主催委員長研修会（仙台市）	12/21	黒川地域行政事務組合議会定例会
11/6	県議会議長会主催広報研究会（仙台市）	12/25	広報広聴常任委員会
11/7	総務産業常任委員会 所管事務調査		



町の産業に

インタビュー

上杉りんご園  

(丸山)

創業から何年？

りんご園については30年。加工部門は15年くらい。

創業のきっかけは？

直接お客様に届けられるという産直の魅力と、6次産業へ興味があり始めた。

事業内容と方針は？

りんご・お米・野菜を親子3代で作業分担してやっている。

基本として有機栽培するよう心がけている。

販売先は？

道の駅おおさとが主で、仙台、松島方面でも販売している。

苦労していることは？

天候に左右されるため、植え付け、管理作業、収穫と気が抜けないこと。

うれしかったことは？

「おいしくてまた来ました」とお客様から声を

かけていただけること。

今後の目標は？

体にいいもの、また食べたくなるものなど、今後もニーズに合った作物、加工品をつくりたい。

今後望むことは？

リニューアルした道の駅おおさとで生産者もお客様も、おいしいおおさとで、ますます元気になることを願っています。

編集後記

謹賀新年

あけましておめでとうございます。小、中、高と文章作成が大変苦手でしたが、6名の広報委員や議会事務局職員、町民の皆様にご協力をいただき、今回も内容の濃い議会広報紙になっていと思っています。

これからも行政を監視する議会側の情報紙として、町民の方々にお伝えできるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします

大友 三男